**Die Uhrzeit (時刻)**

時刻表現は多くありますが、約束するときや特定の時刻について語るときにドイツの日常生活でよく使われる表現を紹介します。また特に間違いやすい点について注意します。

・ 名詞 Uhr

女性名詞として「時計」という意味もありますが、時刻を言う時には「3時」の「時」に当たります。その場合は冠詞を付けません。drei Uhr, sechzehn Uhrなど。

drei Uhr: 午前3時又は午後3時

sechzehn Uhr: 午後4時

・ 前置詞 um

日本語の時刻表現の「に」に当たるドイツ語の単語は前置詞umです。日付（an/amを使う）と週・月・年などを指す表現（in/imを使う）の場合と違うので注意してください。

um sechzehn Uhr: 午後4時に

・ 前置詞 vor, nach

特定の時刻に近い時間をいう時に使う表現、例えば

(um) zwanzig [Minuten] vor zwölf [Uhr]:（午前又は午後）11時40分（に）

(um) zehn [Minuten] nach drei [Uhr]:（午前又は午後）3時10分（に）

注　[　] に囲まれた単語を省略してもよい。

・ 副詞 morgens, vormittags, mittags, nachmittags, abends, nachts

英語のam, pmに当たるドイツ語の単語はありません。時間を12時間方式でいう時に、例えば「5時」は朝の5時を指すのか、夕方の5時を指すのか、明らかにするために以上のような副詞を使います。どの副詞を使うかは生活習慣によって、または季節によっても変わりますので、あくまでも大体の定義しかありません。

morgens: 日の出前後、日常生活で起きる時間から仕事を始める時間まで、5:00〜10:00位

vormittags: morgensが終わってから昼食まで、9:00〜12:00位

mittags: 太陽が南に位置する時、昼食を食べたり昼休みしている時間、11:30〜14:00位

nachmittags: mittagsが終わってからabendsになるまで、13:00〜18:00位

abends: 日の入前後、夕食時間から寝るまで、17:00〜23:00位

nachts: 日の入から日の出まで、人が寝る時間、22:00〜6:00位

これらの副詞は時刻表現の前または後に置かれるが、それぞれの使い方に制限があります：

abends um sieben [Uhr]: 午後7時に（umを使う場合のみに使われる語順です）

(um) sieben Uhr abends: 午後7時（に）（この表現ではUhrを省略しません）

・ 名詞 (das) Viertel

「四分の一」という意味ですが、ここでは一時間の四分の一、つまり15分を指します。時刻の表現ではよくvorとnachとともに使われ「15分前」または「15分後」を意味します。

morgens um Viertel vor zehn [Uhr]: 9時45分に

morgens um Viertel nach zehn [Uhr]: 10時15分に

注：この表現ではUhrを省略することが多いです。また、一部の地方ではこの表現があまり使われておらず、代わりに以下のviertel, dreiviertelが使われています。

・ 副詞 viertel, halb, dreiviertel

時間を表す数詞の前に置かれ、その時間が「まだ完全になっていない」意味を指します。従って以下のようになります。この表現ではUhrを常に省略します。

morgens um viertel zehn: 9時15分に

morgens um halb zehn: 9時30分に

morgens um dreiviertel zehn: 9時45分に

morgens um zehn: 10時に

注：この場合はviertelが副詞なので小文字で書きます。halbを使った表現はどこでも非常に頻繁に聞かれます。それに対して、上にも述べたように、Viertel vor/nachという表現が好まれる地方と、副詞viertel/dreiviertelを使った表現が好まれる地方があります。しかし、さまざまな出身者が混ざる大都市などでは両方とも聞かれるので、間違って解釈しないように注視しましょう。また、ドイツ語のhalb zehn (9:30) を英語のhalf past ten (10:30) と意味が違います。以下に主な表現を並べました。ドイツ人と約束する時にお間違いのないように！

viertel zehn: 9:15　　Viertel vor zehn: 9:45　　Viertel nach zehn: 10:15　　dreiviertel zehn: 9:45

・ 時刻表などを読む時に使う表現

日常生活でもこの表現を使う人はいますが、時刻表などを読む時に必ず24時間方式を使って、以下のように読み上げます。読み方は書かれる順番と違うので注意して下さい。この表現を書く時には時間と分を表す数字の間にコロンを書く。表記ではUhrという単語を省略する場合もあるが、それが書かれても書かれなくても、読み上げる時には必ず「X Uhr Y」（Xは時間、Yは分）という順で、「Uhr」を省略せずに発音します。

0:00 [Uhr]（読みはnull Uhrまたはnull Uhr null。:00の場合、分を読み上げないのが多い。）

0:27 [Uhr]（読みはnull Uhr siebenundzwanzig）

22:01 [Uhr]（読みはzweiundzwanzig Uhr eins）

24:00 [Uhr]（読みはvierundzwanzig Uhr。電車の到着時刻等として使われます。出発時刻としては0:00になります。到着が1分でも遅くなると24:01ではなく0:01になります。）

・ 12時間方式と24時間方式の特徴と使い分け

24時間方式を使う時にはUhrという単語を決して省略しません。仮に書かれた文章に省略されても、読み上げる時に省略してはなりません。

12時間方式では0 Uhrという表現を使わず必ず12 Uhrと言います。従ってお昼の12時をドイツ語ではいずれの方式でも0 Uhrと言えないし、そのように書かれることもありません。

vor, nach, Viertel, viertel, halb, dreiviertelを含む表現は決して24時間方式を使いません。12時間方式に限って使われる表現です。

それ以外の場合は日常生活でも24時間方式がかなり普及しています。„Wir treffen uns um 16 Uhr.“（午後四時に約束している）という表現も、また „Das Konzert beginnt abends um zwanzig Uhr.“（演奏会は夜の20時に始まる）という余剰的な表現もよく聞かれます。

スーパーの閉店時刻として、日本では「25:00」のような、24:00を超えた表現も見られますが、ドイツでは決して使われません。24:15という書き方も誤りで、0:15が正しい表記です。

・ 上記の複数の表現を混ぜた表現

viertel, halb, dreiviertelを使った表現にはfünf vor, fünf nachなどを重ねる場合があります。特にhalbを使う表現ではそれが非常に一般的に使われますが、viertelやdreiviertelとともに使う人もいます。

nachmittags um fünf [Minuten] vor halb vier: 15時25分に

morgens um fünf nach dreiviertel sieben: 午前6時50分に

ちなみにViertel vorとViertel nachを含む表現にさらにfünf vor, fünf nachを重ねると紛らわしいので、一般的ではありません。